谷川連峰

湯檜曽川　本谷

2009/8/29.30
L 白土、斉藤（記）

　ご存知、谷川の名渓「湯檜曽川　本谷」へ行く事となった。今回は私と白土さんに菊池さんと志満さんを加えた４人での計画であったが、直前に菊池さんは仕事の都合で、志満さん体調不良で参加出来なくなってしまった。私を除いた３人は去年にも同じ計画をたてたが、潰れてしまっている。1 年越しの計画に行けない事はさぞかし残念だろう。今回は不参加になってしまった二人の分まで楽しんでこようと臨む事にした。

8/29 朝、濃い霧の中、前夜泊場所の土合橋駐車場をあとにする。登山道を入渓点である武能沢まで歩く。歩き始めるとすぐ雨が降り始め、以降、降り続ける。武能沢に着き、足ごしらえを整えていると、後続パーティーが追いつく。聞くと、大倉沢に入るという。そちらのパーティーの「たまには、晴れている中、沢に行きたいね。」という会話に全く同感だと思った。同じ頃、同じような事を考えていた沢ヤは少なくないだろう。武能沢を少し下るとすぐ湯檜曽川本谷へと出る。いきなり、左岸に高い岩壁を備えた深い淵が現れ、遡行意欲がそそられる。水温は思ったより高く、ゴルジュの多いここでの遡行では助かる。程なく 6m 魚止めの滝、左から登る。そこから、小滝が連なる狭いゴルジュが長く続く。左のしっかり踏まれた踏み跡を巻く。抜けると渓相に落ち着きを取り戻し、視界が開ける。左右の山の斜面に深い積雪に磨かれたスラブが目立ち、谷川の沢に来た事を実感する。渓が右に 90°曲がると長く狭いゴルジュに淵が続く。へつり泳ぎで突破する。今度は左に 90°曲がり、連瀑帯が始まる。一つ目 5m滝の左壁を登ると目の前に 3 段 30m 大ナメ滝が現れる。水流の脇をフリクションを効かせて慎重に登る。正面に、50m 大ナメ滝のある抱返り沢が出合う十字峡が近づく。左に大倉沢、正面に抱返り沢、左に本谷の十字峡は湯檜曽川本谷きっての見所だ。そのスケールに思わず足が止まる。左の本谷に進むと尚もゴルジュ帯が続く。右壁より 2 段 20m の抱返り滝が落ち、渓は再び 90°右に折れる。この滝は下段を登り、水量の多い上、リスの無いスラブの上段は左より巻く。その先は、易しいナメと小滝が続き、頭上に送電線が見えると、再び連瀑帯が始まる。スピーディーにいくつもの滝を越えてゆく。途中一見泥壁のように見える赤い岩壁の 6m と 8m の滝が続く。6m 滝は左を簡単に登れるのだが、8m 滝は登れそうに無く、右から巻く。ここは岩の斜面にうっすら土の付いた草付きで、バイルのピックは全く効かず、草を掴んでも根元ごと剥がれる始末。おまけに傾斜もきつく、すべったら先に登った 6m 滝の基部まで落ちてしまう。正直、今回の遡行で一番怖い思いをした所であった。ここは 6m 滝の手前から纏めて右を巻いた方がいいだろう。その先で 40m の大滝を見ながら、暫し休憩する。過去の遡行記録に目を通して大滝に臨む。易しい下段をフリーで登り、左から出合う沢に移る。少し登ったら、草付きを落ち口に向かって右にトラバースする。ここは白土さんのリードであっさり越える。その先、右に峠沢を分けると再び送電線の下を潜る。綺麗なナメ滝をいくつも越えると、幕営予定地の二股に着く。時計を見るとまだ、11:40 であった。少し早く着き過ぎてしまったようだ。丁度雨が止んだので、今がチャンスとばかりに、そそくさとツェルトとタープを張り、焚き火の準備まで終わらせ真っ昼間から酒を飲む。たまには、こんな余裕の山行もいいものだ。序所に空が明るくなり、翌日の天気に期待が膨らむ。

8/30 朝起きると深い霧がたちこめ、青空の下でのフィナーレを迎えるという期待はあっさりと裏切られる。遡行を開始するとすぐに、源頭の雰囲気にとなる。登るにつれ、左側に岩場がいくつも現れ、フリークライミングのゲレンデのような所だ。水流が細くなり始めると、トリカブトを始めとした色鮮やかな花が目立ち、短い夏の終わりに彩りを添える。今、各山域にて鹿の増え過ぎが原因で高山植物が激減している中、これだけ沢山の花が楽しめる所も少ないだろう。やがて草原から笹薮に変わると、水の流れもまもなく消えるが、踏み後はどこまでも付いている。ハイマツが現れだすと稜線も近い。最後は平坦な草原に出て、少し歩くと登山道に出た。ここで靴を履き替えて、遡行の余韻に浸りながら、下山に就く。湯檜曽川本谷はどこをとっても、絵になるロケーションで、(天気が良く無かった事がかなり惜しまれるが、)程良い登りも楽しむ事が出来る。一言でいうと遊べる癒し系の沢といったところだろう。兎に角、最後まで飽きさせる事無く楽しませてくれた湯檜曽川本谷と、この山行のリーダーである白土さんに感謝したい。

工程:8/29　5:20 駐車場～6:45 武能沢～7:10 入渓～8:18 十字峡～10:30 大滝下～11:40 二股（テン場）

8/30　6:50 テン場～8:50 登山道 9:15～10:35 白毛門山頂～12:40 駐車場

山行文献：奥利根、谷川連峰の沢　白山書房